

さわやか通信

平成 30 年 10 月 1 日発行

No.18

あまの楽 あまの楽 あまの楽

株式会社ウェルフェアネット

会社設立 平成 12 年 12 月
代表者 代表取締役 平山正明
事業内容 福祉事業全般 筑紫地区を中心に
グループホーム 小規模多機能型居宅
介護施設の運営を主たる事業としている
基本理念 住み慣れた地域で安心して健やかに暮ら
せる老後をお手伝いします
基本方針 利用者おひとりおひとり、その人らしい
生活に日々「寄りそう」

さわやか憩いの家 春日

利用者 Sさん



絵・久門 裕子



「平成」

戦後七十三年。戦争を知らない私たちが「介護」が必要な時代だと感じたのは、昭和が終わる頃だった。高度成長期の日本の背景には様々な課題が多く、その中で認知症を持つ人が過剰な身体拘束を受けながら、命を全うしていた時代でもあった。

まだ私が二十歳の時、「介護」の道を志そうと、介護の専門学校に通っていた頃。二週間の実習をした施設先で、鍵つきの介護服は当たり前、回路式の廊下、オムツセンサーなど衝撃の現場があった。今も目に焼きついているのは二重扉の先に、四畳一間に家具もベッドも無い部屋で、介護服を着て過ごしていた方がおり、その方が私に「ここから出して」「連れて行って」と手をさし出され、何も言葉にできず、立ちすくんでいると、私の後ろで「早くあなた出ないと、出てくるでしょう。」と寮母さんから言われ、その部屋を後にした。重度の認知症があり、他の方と生活ができないからとの理由だった。

またある時は、「介護福祉士とか、資格が取れるからって、なんも分からんくせに。」と言われながら実習をしたこともある。寮母さんは、夜間せん妄のある方から叩かれたら、叩き返すことも日常にあっていた。実習日誌に、「私はそんな介護士になりたくない。」と書いたこともあり、学校の先生から、「これが現実だから、しっかり目に焼きつけておきなさい。」と指導された。

その後、時代も変わりあの光景は時代のせいだと言われた。働く人も教育がないために認知症が病気だと認識もなく、ただ世話を懸命にしていた人達だと言われた。

平成十三年に開設した「さわやかテラス」。社会保障改革から介護保険制度が制定され時代が急速に超高齢社会となり、激動の「平成」の波を真に受けながら、これまで「さわやかテラス・さわやか憩いの家」を大野城市・春日市・筑紫野市で、認知症に特化した事業を展開してきた。平成の時代もわずかなとなり、私達は急速な時代の変化に何を残せてきたのか。

「あるがままに 楽しく ゆったりと」の家訓を入居者の方に作って頂いてからこれまで、百名以上の方の命をお見送りしてきた。ただ介護するだけとは違い、認知症があるだけで、言葉にはできなくても伝えたいことは山ほどある皆さんの最期に関わり、伴走できたことへの感謝はとても大きい。

今思うのは、「昭和」「平成」と時代が駆け抜けても、「人」を考えたり、思いやりたりしなければ、いつでも拘束の時代に戻ってしまうこと。次の世代に残すひとつの道が、どんなフィールドになっても「人」を考え続ける努力を惜しまず続けることだと感じている。

(さわやかテラス二日市・さわやか憩いの家

二日市 統括責任者 田中 順子)

西日本豪雨

異常気象の今夏。七月六日には、これまでにない集中豪雨が西日本を襲いました。「命の危険」を感じたこの雨は、今夏全国に被害が及ぶことになりました。「これまでにない」「記録的短時間豪雨」などのニュースが飛び交いましたが、この異常気象は毎年の事になるだろうと自覚したのも事実です。岡山の実備町や広島島の呉など、豪雨からの二次的災害に見舞われ、そのあと、猛暑が続く、住民の皆さんの精神的なダメージは計り知れない状況でした。六日の日、短時間に判断を迫られる状況になりました。川の氾濫水位を超えるスピードの速さと、川の近くに住む利用者の方に避難して頂く判断もギリギリになりました。

その中で、筑紫野市、大野城市、春日市の七つの事業所の防災委員の連携があり、各事業所や周辺の状況、道路状況を互いに状況を伝達しながら、危険な箇所を把握していったことが、これまでの防災組織が稼働していると感じました。

課題も多くあり、「避難準備」「避難指示」「避難勧告」を他人事として感じていた時から、目の前の景色が刻一刻と変わる中で「避難勧告」になってから我が事として行動した状況があり、今後発令される情報を正しく理解することも大切な事と感じました。

豪雨の様子

春日市



春日テラス周辺（須玖地区）

大野城市



大野城テラス近くを流れる牛頭川

大野城中央テラス前



二日市

筑紫野インター周辺



今後の課題として、グループホームの防災組織の見直しと小規模多機能を利用されている利用者さんの家と支援方法を、より具体化することを進め、形にしていきたいと思います。

研修報告

【デンマーク研修】



六月二日～十三日、「福祉国家」デンマークへ、大谷のみ子さん他六名で研修に行かせて頂きました。

日本でいうグループホーム・特養・デイなど見学したり、高齢者協会、弁護士のスザンヌさんより認知症介護における人権擁護の講義を聴いたりしました。制度面で利用者と働く職員の両方のために整っているなど感じました。認知症であっても本人の思いを中心に考えること・思いやり（オムソー）を大切にすること・言葉遣いや信頼関係を大事にすることとは、日本も同じだと再確認しました。また、認知症当事者のヤンさんとの出会いでは認知症と診断を受けた時から今の生活の話を伺い、「ネットワークを持つて自分らしく生きていく」・病気の不安はあるが、恥ずかしいことではないので、困ったら周りに頼ること」を学びました。因みにW杯も楽しみにしておられました。

（さわやか憩いの家春日責任者 光武祐一郎）



【認知症ケア学会 in 新潟】

六月十六日、十七日「あなたの隣にいます」認知症の人もわたしも」というテーマで第十九回日本認知症ケア学会大会が新潟県の朱鷺メッセであり、参加してき

ました。全国から約三千人が集まり、私は、生まれ育った町だからこそ、今も昔も変わらない生活が送れている利用者の事例をポスターにして発表してきました。

私たち一人ひとりが他の誰とも違うように、認知症であろうとなかろうと普通の生活がありま

す。地域とは特別なものではなく、私たちすべての人が、一つの思いやりを持っていれば、誰もが住みよい社会になると大会を通じて感じました。



また、災害支援のことや、IoT、外国人雇用の話も多くあり、時代の流れを感じる大会でした。

（さわやか憩いの家大野城中央責任者 秋吉裕美）

【北海道胆振東部地震により日本在宅ホスピス全国大会 in たちね延期】

九月六日に北海道胆振東部地震が発生し、第二十五回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 in たちね中止となりました。私の実家が北海道の旭川にあり、震源地からは離れていましたが、停電や断水、今は節電と物が置いていない状況が続いています。



今回、筑紫野市で初の認知症カフェ「喫茶いこい」の取り組みについて「憩い 来い 来い 来い」というテーマでポスター発表をする予定でした。

喫茶いこいは、利用者の方が主体となり、来られた方々を出迎え、一緒に過ごされています。少しずつ近所の親子連れの方、学生さん、民生委員さんや薬剤師さんも気軽に立ち寄れる場所になり、「認知症になっても生き生きされていて、悪いことばかりじゃないやね」というような意見が多く聞かれます。生き生きと暮らし続けることは、できることの支援と困った時にも安心できる環境が必要だと感じています。筑紫野市では、認知症カフェの開催が増え、足を運ばれ方が増えています。また、認知症サポーターも増えており、様々な活動を通じて認知症への理解とやさしい町づくりが進められており、私たちも今後も貢献していきたいです。

（さわやかテラス二日市責任者 紺田光一）

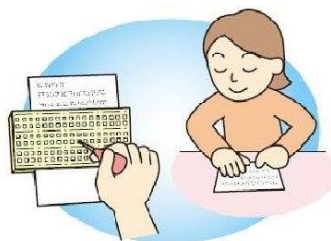
【福岡点字図書館講演会】



福岡点字図書館の館長さんより「鍵をかけないケアの本を読みました。いろんな方に読んでもらいたいので、点訳、音訳をして、ぜひ点字図書館に置かせてください」と言われました。また「つどいて、高齢期をどう生きるかを視点に話してほしい」と依頼があり、五月二十日、本の成り立ちやさわやかテラス、さわやか憩いの家の様子をお話させて頂きました。

皆さん目が見えない分、耳を澄まし、真剣な様子で私の話に耳を傾けてくださいました。質問や意見がたくさんあり、高齢者になるとへの不安を訴えておられる方や障害を持つていても高齢になった時に伸び伸びと過ごせるような居場所があるかもしれないという希望が持てたと

言われる方もおられました。今まで交流のなかった方々にも、こうやってさわやかテラス、さわやか憩いの家を知ってもらえる機会を頂き、有難いことだと思います。



（統括執行役員 山城裕美）

【キッズサポーター in 保育所】



春日市の須玖保育所より、七夕祭りへの招待がありました。その前に、園児達にお年寄りについて少しでも知って欲しいということで、お年寄りについての勉強会を行いました。

約百名の園児と二十名の先生方が参加され、劇を中心にお年寄りに対する声の掛け方などを説明しました。

三～六歳までの子どもたちに伝える難しさはありましたが、アンパンマンを例に出して話をすると質問が多く出ました。子ども達が真剣に聞く表情や素直なまなざし、表情豊かなリアクションを感じ、お年寄り、認知症の方の気持ちを伝えることの大切さを改めて感じました。



【お知らせ】

（さわやかテラス春日責任者 長野太一）

十一月十一日の「介護の日」に「認知症あったかホームコンサート2018」がパピヨン24で開催されます。皆様お誘いあわせの上お越しくださいませ。



—あの日・あの時—

父が導いてくれた

「介護の仕事」

私がさわやかテラスで働くようになって、もうすぐ三年。探し物をやっと見つけたという感じです。六十代で認知症を患った父が十年前に亡くなり思うように寄りそえなかった悲しみを引きずっていました。ふと目にした病院レストランの求人広告に応募し、働き始めました。仕事を通して意識が別に行くことで、悲しみが少しずつ癒えていく様でした。レストランをご利用されるお客様は様々で、それぞれのご事情や悩みを合間に話していかれます。父に寄りそった時間の中で思い・迷い・行き詰まりを感じた日々を思い出しました。

朝から勉強されている看護師さんがおられました。『おはようございます。介護のお勉強ですか』と伺うと『そうなんです。資格を取るうと思つて』との事。『そうですか。熱心ですね。お若いからできますね』と言つと『いえ、私は何歳からでもできると思いますよ。始められませんか』と思います。言葉が返ってきました。『今から介護の勉強を?』と思ひながら、なぜかその時の事は心に強く残りました。病院のレストランの仕事で元気になった私で

したが、やりがいという点では少し違いました。一年後お世話になった仲間に別れを告げて、翌月には介護の学校を選んでいました。講義は、講師の方々の深く熱い思いが伝わってきて、目指すべきことがはっきり見えてきました。そして、職場説明会でウエルフェアネットの山城さんとお会いしたので、清潔感のある主婦というイメージで自然な雰囲気印象的でした。『あるがままに楽しくゆったりとお過ごし頂いています。』その説明で、日常の様子が見えてくるようでした。とても関心があるとお伝えすると、さわやかテラス大野城の夏祭り見学に誘って頂きました。父を通して見ていた介護のイメージとは違い家庭の中で入居者の方が過ごされているという嬉しい驚きでした。今尚、毎日勉強させて頂くばかりです。入居者の皆様、若し上司の方々、スタッフの皆さんとの時間を大切に過ごしていきたいと思ひます。

(さわやかテラス大野城中央 大串 眞佐子)



編集後記



今、この編集後記を書いている外ではセミが鳴いています。今年はセミの鳴き声を聞くと、より一層暑さを感じます。先日、驚くことに仕事の中の私のズボンにセミがくっついていました。いつどこでくっついたのか分かりませんが、あまり元気がなくおとなしいセミでした。丁度入居者さんのお部屋にいたため「セミがくっついていました!」とお見せすると、普段外出はされることはあっても、セミを間近で見られることはそう無いため、ビックリされたのでしよう。それまであまりお話をしなかつたSさんが「セミ?!どこでひつつけて来たの?」と見せて、「目を真ん丸にされました。それから二人でじっくりセミを観察して記念写真を撮り、「飛んでいけ!」と窓からセミを逃がしました。九十歳を超えたSさんが少女の顔に見えましたが、もし私がセミをすぐに逃がしていればSさんの笑顔を見ることは無かつたと思ひます。たつた数分でしたが、凄く印象深い出来事になりました。

日々働く中で、一日として同じ日を過ごすことはありません。毎日色々なことが起こり刺激を受けています。辛いことや悩むこともあります。が、お年寄りの笑顔や元気な姿を見ると、この仕事をしていて良かったと思ひます。今回、ちよつとしたことでもお年寄りとの喜びを共有することとは大切だなと実感しました。日々の業務に追われる中でも、視野を広く、一呼吸置くこと大切にしていきたいです。

(さわやか憩いの家 大野城中央 川嶋 文子)

広報担当 (田中順子・石丸雄司・菅原加織 山本明日香・川嶋文子)

ウェルフェアネット30年度の活動

- 社外研修・セミナー参加
 - 日本ホスピス・在宅ケア研究会
 - デンマーク研修・韓国研修
 - 日本セラピューティック・ケア
 - 日本認知症ケア学会
 - 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会
 - 九州地区での各種研修
 - 他事業所との合同研修
- 各団体との関わり
 - 福岡県高齢者グループホーム協議会
 - 筑紫地区介護保険事業者連絡協議会
 - 福岡県介護福祉士会
 - 安心サポートネット
 - ホスピス緩和ケアネットワーク福岡
 - 筑紫地区小規模多機能連絡協議会
- 地域との関わり
 - 各地域の自治会・育成会・老人会等
 - 地域の保育園・小学校
 - 民生委員・福祉委員
 - 各地区の地域包括支援センター
 - 筑紫野市介護を考える家族の会
 - 春日市介護を考える家族の会
 - 「ひだまりの会」
- 相談会や講座開催に積極的に協力
 - 認知症介護指導者
 - 認知症サポーター養成講座
 - 社外実習生の受け入れ
 - 公民館活動との連携
- 災害広域相互協定の推進

筑紫野市

グループホーム

さわやかテラス二日市

〒818-0042 筑紫野市立明寺533-1
TEL 092-918-0045 FAX 092-918-0255

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家二日市

〒818-0042 筑紫野市立明寺534-3
TEL 092-918-3830 FAX 092-918-0255

大野城市

グループホーム

さわやかテラス大野城

〒816-0971 大野城市牛頭4丁目5-29
TEL 092-513-7511 FAX 092-513-7512

グループホーム

さわやかテラス大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL 092-501-0352 FAX 092-501-0323

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL 092-501-0322 FAX 092-501-0323

春日市

グループホーム

さわやかテラス春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL 092-588-3307 FAX 092-588-3308

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL 092-588-3531 FAX 092-588-3308

検索してね!

検索 さわやかテラス

株式会社ウェルフェアネット本社

〒816-0864 春日市須玖北4丁目10番405
TEL 092-582-0757 FAX 092-582-0847